

関東地方における風しん発生について

全国の第30週から第31週まで（7月23日から8月5日まで）の感染症発生動向調査において、38名の風しん患者が報告されており、特に、千葉県、東京都、神奈川県など関東地方での届出数が急増しています。

患者の多くは、ワクチン接種率が低い30代～50代の男性が占めています。

多くの人の往来が見込まれる時期での発生となっており、今後、全国的に感染が拡大する可能性があります。

つきましては、発熱や発しんを呈する患者が受診した際は、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴、予防接種の確認などをご留意いただきますようお願いいたします。

なお、「風しん」と臨床診断した場合は直ちに保健所に情報提供いただくとともに、精度の高い検査診断と感染拡大防止対策を進めるために、PCRによる行政検査をさせていただきますので、急性期の検体採取にもご協力をお願いいたします。

<確保していただきたい検体>

- ①咽頭拭い液（V T M；専用ウイルス搬送用培地）
- ②血液（EDTA加血 2cc 程度）
- ③尿（滅菌スピッツ 10cc 程度）

※①～③のうち採取可能な複数検体。

容器については、情報提供後お届けいたします。

連絡先

平日 : 和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL(073)488-5109
夜間・休日 : 和歌山市役所 警備室 TEL(073)432-0001